



ジョークサロン新年あいさつ 令和4年1月8日

快鳥

曾田 英夫

新年明けましておめでとうございます。

ジョークサロンの皆様には何事もなく、令和4年の新年を迎えられたことと
思っています。

本日は新年会を神田の「はなの舞」で開催の予定でした。しかし、新型コロナ
の急拡大により急遽ZOOM新年会となりましたが、楽しい新年会にしたいと
思っています。

さて、去年は新型コロナウイルスの影響で、1月から9月までは野本変集鳥
のご尽力でZOOM例会となりました。しかし、コロナ禍が沈静化した10月か
ら12月の3回は神田で集まって実施する事ができました。その際もZOOM併
用という今までにない例会となりました。

3回にしても、みんなが考えたジョークに顔を見合わせて、笑い合うという本
来の会になったことは良かったと思っています。

さらに、「伝笑鳩」は切れ目なく発行できて、全国に飛ばすことができました。
読者の皆様からは飛ばし続けて欲しいとの励ましを沢山いただき、やはりこ
の時だから「ジョーク」が大切で、やり続けることが必要であることを痛感し
ました。「伝笑鳩」は来年400号の節目を迎えます。

最後に多くの人々からカンパをいただき、「ありがとうございます」とお礼を
言いたいと思います。それで「寒波」が来たようです。

それに野本変集長のご尽力でホームページが更新されました。その苦労話は
ご本人からお願いします。

今年の7月で33年目に突入となります。コロナ禍がいつ収束するのか不透
明ですが、三役を中心として頑張っていくので、皆様にはジョークサロンが
更に盛り上がりますようにお願いします。

簡単ですが、ご挨拶といたします。